

令和 年度（ 6年度決算分）高松市事務事業評価表【事中・事後評価】

総合計画体系	まちづくりの目標		さまざまな主体がつながり、ともに力を発揮できるまち	評価担当	局名	財政局
	政策		自立的で推進力のある行財政運営の確立		課(室)名	ファシリティマネジメント推進室
	施策		行財政運営の基盤強化		電話番号	087-839-2262
	取組方針		効率的・効果的な行政運営の推進		事業期間	令和 6年度～令和 13年度
	事務事業		ファシリティマネジメント推進事業			

【事業全体概要】

事業概要	本市の公共施設・公用施設は、老朽化が急速に進展しているが、今後の財政状況を考慮すると、全ての施設を現状のまま維持・更新することはできず、施設の保有総量を削減するなど、施設に係る経費の削減に取り組む。また、公共施設サービスの維持を図るため、ファシリティマネジメントの考え方を取り入れ、経営的な観点から、施設の用途転用や共用化による有効活用の促進、配置の見直し、複合化、未利用スペースの貸出しなどに取り組む。				
年度概要	公の施設指定管理者選定委員会委員報酬 非常勤嘱託職員報酬及び社会保険料 F M推進支援専門員報償費及び旅費 システム委託料 その他				
重点取組事業		市長マニフェスト	2-	関連根拠法令	

【事業の目的】

対象（何を）	市が保有する全ての公共施設（ＦＭ推進基本方針で対象外としている施設は除く。）を対象とする。
意図（どのような状態にしたいか）	中長期保全計画等の策定を行い、効率的・効果的な維持保全や長寿命化対策により、適切な維持管理を行うことで、財政負担の軽減や平準化に努めるとともに、市有施設の保有総量（延床面積）の最適化を図る。

【事業の活動】

活動指標名（具体的にどのような活動をしたか）	単位	R 4	R 5	R 6	R 7	中期目標 R 8
庁内プロジェクトチーム開催回数	回	0	0	1	2	2

【事業の成果】

成果指標	成果指標名 (どのような成果が得られたか)		単位	種別	R 4	R 5	R 6	R 7	中期目標 R 8	
	再編整備実施計画策定済みの施設数		施設	目標値	0	0	41	48	55	
				実績値	0	0	37			
	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか）									
	施設所管課との情報共有・情報提供を更に進めながら、再編整備実施計画の早期策定に向けた支援を行う。		(目標達成度)		90.2%					
(得点)			32点							
成果指標	成果指標名 (どのような成果が得られたか)		単位	種別	R 4	R 5	R 6	R 7	中期目標 R 8	
				目標値						
				実績値						
	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか）									
			(目標達成度)							
(得点)										

	単位	R 4(決算)	R 5(決算)	R 6(決算)	R 7(予算)
トータルコスト	[千円]	56,466	57,382	55,457	62,179
(事業費)	[千円]	4,078	4,693	9,137	15,859
(職員人件費)	[千円]	52,388	52,689	46,320	46,320

項目	事業内容	積算根拠等 (予算の増減理由)	事業費		
令和 6 年度	公の施設指定管理者選定委員会委員報酬 非常勤嘱託職員報酬及び社会保険料 F M推進支援専門員報償費及び旅費 システム委託料 その他	2 0 8 千円 7 , 3 7 8 千円 0 千円 8 3 3 千円 7 4 1 千円	総額	9,137	
			特定財源	国	0
				県	0
				市債	0
				他	0
			一般財源	9,137	
令和 7 年度	公の施設指定管理者選定委員会委員報酬 非常勤嘱託職員報酬及び社会保険料 F M推進支援専門員報償費及び旅費 システム委託料 その他	3 6 3 千円 1 3 , 2 7 8 千円 5 1 7 千円 8 3 4 千円 8 6 7 千円	総額	15,859	
			特定財源	国	0
				県	0
				市債	0
				他	0
			一般財源	15,859	

区分	評価項目	評価基準	
妥当性	事業の実施が総合計画・市長マニフェスト等の目標達成や、事業の根拠等に結び付くか。	5	結びつく
	事業の実施に対する市民のニーズの傾向はどうか。	3	横ばいである
有効性	事業の上位目標である施策に貢献しているか。	5	貢献度が大きい
	住民福祉の向上に貢献しているか。	5	貢献度が大きい
効率性	事業実施手法としては最適か。	3	現状が望ましい
	類似事業との統合・連携やコスト削減の可能性はあるか。	3	概ね効率的にできている

評価ランク	A (80%～ 100%)	A	総合点 (率)	88 / 100 (88 %)	今後の方向性	継続
	B (60%～ 79%)					
	C (0%～ 59%)					

3 施設において「高松市公共施設再編整備実施計画」が策定され、合計 37 施設となったが、残りの 32 施設の施設所管課は、今後の利活用の検討や関係機関（者）との調整に時間を要している。

施設の維持・更新に係る経費の縮減と平準化を図ることで、財政負担の軽減を目指すため、「高松市公共施設再編整備計画」において廃止等の方向性にある施設は、「高松市公共施設再編整備実施計画」の早期策定に向け、助言等の支援を行う。